

2000 年以降の雑誌における 漢語接尾辞「系」の前接要素の様相

黒 田 聡 実

1. はじめに

従来の漢語接尾辞「系」の前接は、「外資系」「イタリア系」「理科系」のように名詞を用いるか、「日系」「文系」「母系」のように漢字1字の字音を用いることが一般的であった。また、前接に使用される名詞は、政治や学問、血筋、企業名、組織名、人名などが多く見られる傾向にあった。しかし、近年は前接に使用される名詞が日常生活において使用されるものであったり、形容詞や形容動詞などの名詞以外の品詞、句に相当するものなどが前接に使用されたりする例が見られる。例えば以下のように、漢語接尾辞「系」の前接に名詞、形容詞、オノマトペ、句相当を用いている。なお、以降に取り上げる用例中の太字と下線はすべて筆者による。

- (1) ひと振りで梅雨時の食欲不振を吹き飛ばすふりかけ 33 主食系、おかず系、デザート系にお菓子系…ご飯のお供は進化し続けていた！
※ふりかけの発祥や歴史も 『女性セブン』 2020 年 7 月
- (2) “可愛い系” から絶妙なシンセベース！ 抜群のフロア的センスが光る
Perfume！ 『週刊文春』 2015 年 5 月
- (3) 2000 年、おしゃれが変わる！ あったかフィールは洋服だけじゃない！ 激安小物は「ふわモコ」系！ ※バッグ、靴、マフラー
『J J』 2000 年 1 月
- (4) the voice 嵐 嵐らしい“クセになっちゃう系”の曲だよな！
『ザテレビジョン』 2000 年 7 月

(1) は前接に名詞を用いた用例であり、食べ物に関する名詞が使用されている。(2) は形容詞が、(3) はオノマトペがそれぞれ前接に用いられ、(4) は品詞ではなく句に相当するものが用いられている。(1) ～ (4) のいずれの用例も 2000 年以前にはあまり多く見られない。

先行研究では、中島晶子 (2010) が、新語および臨時的につくられる語や語句を新造語と呼び、その新造語における「系」の用法を考察している。また、連菁 (2022) が「系」の前接句をそれぞれ分類し、形態的特徴と意味的特徴を述べているほか、山下喜代 (2013) (2015) や大志民彩加 (2020) が認知言語学の観点から「系」の意味拡張のネットワークについて論じている。

そして黒田 (2025) では、「Web OYA-bunko 大宅壮一文庫雑誌記事索引検索」を使用し、戦後から 2000 年までを対象に、漢語接尾辞「系」の前接要素の通時的な調査を行い、異なり語数と用例の両面から以下の 4 点を明らかにした。

- ① 1949 年から 1969 年までは各年で 15 件もなかった異なり語数が、1970 年代から徐々に増加し、1998 年以降は 500 件を超えていた。
- ② 雑誌については少なくとも戦後から 30 年ほどの間、前接要素に使用される品詞は限られた性質の名詞であったと推測される。
- ③ 1970 年代後半に「色名 + 系」が出現して以降、徐々に政治や学問、血筋、企業名、組織名、人名を表す名詞以外のものが前接に使用されるようになっていった。
- ④ 1990 年代に日常生活において用いられるような一般的な名詞や、名詞以外の品詞、句に相当するものなどが漢語接尾辞「系」の前接に使用されるようになった。

すなわち、戦後から 2000 年までの漢語接尾辞「系」の前接要素は、使用される名詞の幅が徐々に広がり始め、1990 年代に入ると名詞以外の品詞や句に相当するものが使用されるようになっていくことを明らかにした。

前接の分類や認知言語学の観点から論じているものが見られる一方、前接要素の通時的な様相に着目して論じているものは乏しい。特に 2000 年以降の様相については明らかになっていない部分が多い。そこで本稿では、2000 年以降の雑誌を対象に、「Web OYA-bunko 大宅壮一文庫雑誌記事索

引検索」を使用し、漢語接尾辞「系」の前接要素の通時的な調査を行なう。そして、異なり語数や用例をもとに、前接に使用される品詞や句相当などの要素がどのような様相を見せているかを明らかにしたい。

2. 漢語接尾辞と各国語辞典における「系」の語釈

本節では、漢語接尾辞の説明と各国語辞典における「系」の語釈について述べる。

2-1. 漢語接尾辞

本稿で用いる漢語接尾辞とは、「癒し系」の「系」や「犬派」の「派」のような、語基に後接し、独立して使用されることがないものを指す。「漢語系接尾辞」「漢語由来の接尾辞」など複数の呼び方があるが、本稿では「漢語接尾辞」に統一する。接尾辞については『日本語学研究事典』(2007)の「接辞」の項目を以下に引用する。

語構成要素の一種。たとえば、「お話」「春めく」「うれしがる」という語は、「お・話」「春・めく」「うれし・がる」と二つの語構成要素に分けることができるが、それらのうち、語の意味的な中核をなし、単独で語を構成することもできる要素(「話」「春」「うれし」)を「語基」(base)と呼ぶのに対し、単独で語を構成することができず、必ず語基と結合して形式的な意味を添えたり(「お」)、一語全体の品詞を決定したりする(「めく」「がる」)要素を指す。(中略)接辞は、語基の前に位置する「接頭辞」(prefix)と、語基の後ろに位置する「接尾辞」(suffix)とに大きく分けられる。(中略)接辞の機能に関しては、(1)語の品詞を決定する(場合によっては語基の品詞性を変える)、(2)語基に何らかの意味を付け加える、の二種類があり、接尾辞は両機能を有することが多いが、「大きさ」「高さ」などの「さ」や「歩き方」「作り方」などの「方」のようにほとんど機能(1)しか持たないものもある。⁽¹⁾

本稿における接尾辞は上記の引用にならって、必ず語基と結合し、独立して使用されることがないものとする。したがって、名詞として用いられる「系」については取り上げない。

2-2. 各国語辞典における「系」の語釈と用例

各国語辞典における「系」の語釈と用例を以下に示す表1にまとめた。2000年以降の用例を調査対象とするため、取り上げた国語辞典は2000年代に出版され、用例を掲載しているものとした。また執筆時点において最新の版を使用した。

表1 各国語辞典における「系」の語釈

デジタル大辞泉 (書籍版は2012) 小学館	2 名詞に付いて、一つのまとまりのある関係にあることを表す語。「理科―に進む」「外資―の企業」「太陽―」「銀河―」「MKS 単位―」 〔補説〕 俗語では2を発展させて、「ギャル系の話し方」「ビジュアル系バンド」「いかにも体育会系の若者」「癒 (いや) し系」などと用いる。
学研現代新国語辞典 改訂第6版 (2017) 学研プラス	「一続きの関係」「系統」「すじ」などの意。「太陽―」「外資―」
広辞苑第7版 (2018) 岩波書店	①一つづきにつながったもの。いとすじ。ちすじ。「イタリア―移民」 ②組織だった部類。また、その部門。「文科―」
岩波国語辞典第8版 (2019) 岩波書店	①いとすじ。すじ。ひも。つながり。一つづきの関係をなすもの。「傍系・母系・太陽系」 ②体系(としてとらえられるもの)。システム。「力学系・神経系」
新明解国語辞典第8版 (2020) 三省堂	〔自然科学で〕互いに作用し合ったり関連を持ったりする多数の物から成る一まとまり。システム。「太陽―・銀河―・生態―・単位―…」
明鏡国語辞典第3版 (2021) 大修館書店	ある系列をなしてつながるもの。また、ある特性をもってまとまるもの。「太陽―・神経―」「外資―・体育会―・出会い―」
新選国語辞典第10版 (2022) 小学館	㊦①まとまり。システム。「体系・太陽系・神経系」 ②すじみち。つながり。「父系・日系・理系」 ㊦…のほうに関係がある。「体育会―のサークル」「コンビニ―の店」
三省堂国語辞典第8版 (2022) 三省堂	① (一つのものから分かれた) 系統。「左派―・医―大学・多産―」 ② 〔俗〕ある特色をほかしてさすことば。「いやし―のタレント」「かわいい―の男の子」

いずれの国語辞典においても「系統」や「血筋」、「一つのつながりやまとまり」を表す語として取り上げられている。『三省堂国語辞典第8版』では「ある特色をばかしてさすことば」と語釈がついているほか、「デジタル大辞泉」では「一つのまとまりのある関係」を表すところから発展した用例を挙げている。各国語辞典の語釈から、「系」は「系統」や「血筋」、「一つのつながりやまとまり」を表すのが従来からある用法である。また、各国語辞典の用例から、「系」の前接には名詞あるいは漢字1字の字音を置くことが一般的な造語法であるといえる。そのため、『三省堂国語辞典第8版』の用例にある「かわいい系」のような、前接に名詞以外の品詞や句に相当するものを置く用例は、国語辞典上において取り上げられることが少ない。

3. 調査方法、収集対象とする用例

本節では、漢語接尾辞「系」の用例の調査方法、ならびに収集対象とする用例の条件について述べる。

用例の調査は「Web OYA-bunko 大宅壮一文庫雑誌記事索引検索」（以降、「Web OYA-bunko」と表記）⁽²⁾を使用する。フリーワード検索の「すべてを含む」にチェックをしたうえで、「系」と入力し、「除く」欄に「系図」「系統」「系譜」「系列」を設定した。「除く」欄に「○系」のかたちをとるものを設定しなかったのは、用例の取りこぼしを防ぐためである。すなわち、○の前接に1字以上の要素（仮に△とする）を置き、「△○+系」の「前接要素+系」が収集できる可能性を考慮した処理を施すことにした。「発行日」に設定した期間は2000年1月1日から2025年8月6日である。画像1は「Web OYA-bunko」のフリーワード検索⁽³⁾の画面である。

Web OYA-bunko 大宅壮一文庫 雑誌記事索引検索

トップメニュー > フリーワード検索

フリーワード ☐ すべてを含む ☐ いずれか含む

系

系図 系統 系譜 系列

雑誌 ☐ 雑誌名 ☐ 雑誌ジャンル

スペースで区切るとor検索 中間一致 検索

発行日 年 月 日 ~ 年 月 日

記事種類 ☐ いずれか含む ☐ 除く

☐ インタビュー ☐ 対 談 ☐ 座 談 ☐ グラビア ☐ 書 評 ☐ 小 説

発言者 ☐ すべてを含む ☐ いずれか含む

スペースで区切るとand検索。1ボックスに10名まで

現在の検索条件 ◆フリーワード: (無) - (系図+系統+系譜+系列) X条件クリア

表示件数 ☐ 10件 ☒ 20件 ☐ 30件 ☐ 50件 ☐ 100件 ☐ 500件 表示順 ☒ 新しい順 ☐ 古い順

戻 る 検索する

画像1 「Web OYA-bunko 大宅壮一文庫雑誌記事索引検索」の検索画面
(出典: <https://www.oya-bunko.com/search/freeword>)

続いて、収集対象とする用例としない用例の条件をそれぞれ次のように定める。

《収集対象とするもの》

- ①語基+接尾辞で構成されていると判断できるもの(例:文科系、かわいい系)
- ②漢字1字の字音+接尾辞の構成をとるもののなかで、前接要素である漢字1字が意味の中核を成すと判断できるもの(例:文系、理系、母系、日系)
- ③学術的な専門用語、前接が数字やアルファベットなどの記号、色名、略語

《収集対象としないもの》

- ①読み方が不明であるもの
- ②明確に名詞の一部となっている語(例:直系、一系、体系、大系)
- ③「○○山系」「○○水系」とあるもの(例:大雪山系、桂川水系)
- ④「系」を名詞として使用しているもの

用例の収集にあたっては、文脈から上記①②③の条件を満たしているかを判断基準とする。収集の対象とするのは、検索結果に表示される[タイト

ル] 項目のみである。そのため、[備考] の欄に前接要素 + 「系」で構成されたものが表示されていても収集の対象にしない。

4. 調査結果

本節では、検索結果の件数、異なり語数、用例の3つの側面から、漢語接尾辞「系」の前接要素に関する調査結果を述べる。調査方法と収集対象とする用例の条件は3節に述べた通りである、なお、表で使用する数値、用例はすべて2025年8月6日時点のものである。また、用例、雑誌名ともに「Web OYA-bunko」の検索結果をそのまま引用する。

4-1. 「系」の検索結果の件数

以下の表は、「Web OYA-bunko」における「系」の検索結果の件数である。

表2 「系」の検索結果の件数 (2025/8/6 時点)

年	検索結果の件数	年	検索結果の件数	年	検索結果の件数
2000	1383	2009	1907	2018	1048
2001	1665	2010	1906	2019	1005
2002	1611	2011	1717	2020	902
2003	2031	2012	1694	2021	1010
2004	2171	2013	1642	2022	1024
2005	2271	2014	1493	2023	1099
2006	2238	2015	1326	2024	955
2007	1970	2016	1141	2025	532
2008	1986	2017	1121		

* 2025年は1月1日から8月6日までの暫定数

上記の表2から2005年の2271件をピークに全体の件数が減少し、2018年以降は1000件前後で推移していることがうかがえる。検索結果に同一の索引タイトルが重複して表示されることや、「系」が名詞として使用されている用例、明確に名詞の一部となっている用例を考慮しても、「Web OYA-

bunko」における漢語接尾辞「系」の量的なピークは2003年から2010年までである。検索結果の件数の減少要因には、雑誌の相次ぐ休刊により「Web OYA-bunko」の雑誌の採録数が減少していることが考えられる。すなわち今後、「Web OYA-bunko」において、漢語接尾辞「系」の大幅な量的増加は見込める状況にないと言わざるを得ない。

4-2. 前接要素の異なり語数

はじめに、異なり語の数え方について述べる。同じ年に収集した用例のなかで、丸括弧を除く「」や[]、〈〉といった括弧、ダブルコーテーションの有無、漢字、ひらがな、カタカナといった表記が揺れているものは一般的な表記に代表させて数える。例えば、

“癒し系”／「癒やし系」／癒し系／「癒し系」／「癒し」系／いやし系の6つが検索結果に表れた場合は、／癒し系／で統一して1つと数える。要は、表記上は6つであるものの、語としては1つという扱いにすることである。

以下の表3は、「Web OYA-bunko」における漢語接尾辞「系」の異なり語数である。表2の検索結果の件数から、調査開始年の2000年、量的なピークを迎えた2005年、減少していく2010年、2015年、2020年、2025年というようなかたちで、5年ごとに異なり語数を調査した。参考値として検索結果の件数と検索結果の件数に占める異なり語の出現率（少数点以下は四捨五入）も併記している。なお、述べ語数については検索結果に同一の索引タイトルが重複して表示されるケースが散見されるため、本稿では取り扱わないこととした。

表3 漢語接尾辞「系」の2000年から2025年までの5年ごとの異なり語数

年	検索結果の件数	異なり語数	検索結果の件数に占める異なり語の出現率
2000	1383	556	約 40%
2005	2271	773	約 34%
2010	1906	680	約 35%
2015	1326	521	約 39%
2020	902	403	約 45%
2025(1/1～8/6)	532	256	約 48%

異なり語数については検索結果の件数と同様、2005年をピークに減少傾向にある。異なり語数、検索結果の件数ともに減少していることから、漢語接尾辞「系」の使用は減少してきている。ところが、表3では暫定的な結果である2025年を除くと、検索結果の件数に占める異なり語の出現率は、各年とも概ね40%から±5%程度の範囲であることが見て取れる。したがって、漢語接尾辞「系」の使用は減少傾向にあるが、異なり語の出現率は極端に低下しておらず一定を保っていると考えられる。なお、検索結果に重複して表示された索引タイトル、名詞として使用されている「系」、明確に名詞の一部となっている用例を検索結果から引いた場合、検索結果の件数に占める異なり語の出現率は表3で示したものよりも若干高くなると推測される。

4-3. 漢語接尾辞「系」の用例

4-1では検索結果の件数を、4-2では異なり語数と検索結果の件数に占める異なり語の出現率について述べた。本項では具体的な用例を見ていきたい。主に専門的な用語、前接に名詞以外の品詞や句に相当するものが使用されている例、複数の用法が確認された用例をそれぞれ取り上げる。前提として、2000年以降の漢語接尾辞「系」は、日常生活において用いられるような一般的な名詞や、名詞以外の品詞、句に相当するものなどが前接に使用されている。

まず、専門的な用語を取り上げる。「太陽系」「銀河系」「惑星系」といった天文関係の用例や、以下に示す用例がある。

- (5) 漢方治療の実際 ※呼吸器系、循環器系、胃腸系、肝臓・胆嚢・膵臓系、腎臓・泌尿器系、耳鼻咽喉科系、眼科系、皮膚科系、精神・神経系、小児科、産婦人科系、他

『別冊 NHK きょうの健康』2003 年 10 月

- (6) 消えていくミツバチ ネオニコチノイド系 農薬が人をも脅かす
※ 1990 年代半ばからフランスなどで起きていたミツバチの大量死

『週刊金曜日』2010 年 2 月

- (7) 国鉄車両に会いたい 分割民営化から 28 年、次々と引退に追い込まれる「昭和の名車両」たち 写真・田中一矢 ※ 381 系、キハ 183 系、115 系、103 系、14 系、201 系、キハ 40 系…

『アサヒ芸能』2005 年 11 月

- (8) 現代の肖像 東京大学大学院工学系研究科教授 中須賀真一 メイド・イン・ジャパンの手作り衛星を飛ばせ ※超小型人工衛星

『AERA』2015 年 6 月

(5) は医学分野で用いられる漢語接尾辞「系」の用例である。「呼吸器系」「循環器系」「産婦人科系」のほか、「血管系」「免疫系」「自律神経系」などさまざまな用例が確認された。(6) は農薬の成分の系統であり薬品分野の用語である。ほかに医薬品分野では「サリドマイド系」「ベンゾジアゼピン系」「オピオイド系」などの用例があり、薬品分野において、漢語接尾辞「系」の使用は一般的である。(7) は鉄道の系統であり、調査したなかでは、新幹線の「N700 系」「0 系」なども多く見られた。(8) は大学の所属に「工学系」という学問分野が組み込まれた用例である。学問分野に漢語接尾辞「系」を置く用例は多くあり、「人文系」「理工系」「法学系」「医学系」といった前接に名詞を使用するものもあれば、「文系」「理系」のように前接に漢字 1 字を置く用例もある。

漢語接尾辞「系」の前接に使用される名詞は、2000 年以降も学問や政治、血筋、企業名、組織名、人名などが見られる。政治の場合は「自民党系」「保守系」「革新系」などがあり、血筋の場合は「日系」「中国系」が多く見られた。「Web OYA-bunko」の採録している雑誌に若干の偏りがあるため、

収集した用例にも多少の影響が見受けられる⁽⁴⁾。しかしながら、収集した用例の多くは、冒頭の用例(1)で示した日常生活において用いられるような一般的な名詞であった。

次に、前接に名詞以外の品詞や句に相当するものが使用されている用例を見ていく。本稿冒頭に示した(2)～(4)のように、形容詞やオノマトペ、句に相当するものもあれば、用言や助動詞の語幹が見られる用例もあり、漢語接尾辞「系」の前接要素はバラエティに富んだものとなっている。以下の表4は2000年から2025年までの5年ごとに見られた、前接に名詞以外の品詞や句に相当するものなどが置かれた用例の一覧である。なお、「なごみ系」のように前接が確実に名詞化したもの、形容動詞と名詞を兼ねている外来語は省いてある。鍵括弧やダブルコーテーションの類はそのまま引用したため、表記の揺れがある。

表4 2000年から2025年までの名詞以外の品詞や句などを前接に置いた用例(順不同)

年	用 例
2000	ヤバ系、「ふわモコ」系、さわやか系、ぱふぱふ系、だらだら系、「キレイ系」、「ハラハラ系」、スッキリ系、 <u>「クセになっちゃう系」</u> 、 <u>男のコの視線</u> クギづけ系、さっぱり系、 <u>「キレイなお姉さん」系</u> 、ほんわか系、のほほん系
2005	懐かし系、不思議系、カッコイイ系、「キモおも系」、キレイ系、ドロドロ系、なでなで系、温め系、愛され系、キッチン系、かわいい系、しっとり系、わいわい系、しっとり系、切ない系、 <u>グッと力を入れてる系</u> 、モテない系、オシャレ系、オラオラ系、育てる系、のほほん系、 <u>「いいカラダしてんなあ」系</u> 、甘可愛系、和ませ系、グチャグチャ系、「すっぱ系」、ほんわか系、さっぱり系、こったり系、はんなり系、爽やか系、キメキメ系、激ヤバ系、ネバネバ系、心地よい系、したたか系、サラサラ系、 <u>「タイクツな日常」系</u> 、そっち系、魅惑のオンナ系、 <u>メイクインがごろり系</u> 、「憂い系」、やんちゃ系
2010	ドロ系、オシャレ系、セツナ系、モコモコ系、イケイケ系、「あどけな系」、カッコよさげ系、「オラオラ系」、キレイ系、ゆる系、爽やか系、 <u>「街のオバカ系」</u> 、キラキラ系、「モテ」系、カワイイ系、「モジモジ系」、ねっとり系、 <u>「やっちまった」系</u> 、モテない系、ほんわか系、ガッツリ系、ドキドキ系、ワクワク系、こったり系、ヘルシーまろやか系、控えめ系、頼れる系、サクサク系、モテモテ系、やんちゃ系、出会える系、出会えない系、まじめ系、食べる系、叫ぶ系、温め系、ガッツガッツ系、天然ホンワカ系、濃い系、ゆるゆる系、 <u>「凜としたゆるい系」</u>

2015	切な系、「燃え」系、儂い系、ほんわか系、オレオレ系、「中身は男」系、はんなり系、おしゃれ系、地味系、地元愛され系、懐かし系、弱ってる系、意識高い系、たゆ〜んと系、不思議系、カワイイ系、ほっこり系、オラオラ系、ウズウズ系、怖い系、ガッツリ系、“炒め系”、ゆるふわ系、「明るめ系」、「愛され系」、美意識高い系、ポッチャリ系、こじらせ系、「サバサバ系」
2020	ネバネバ系、“いやしい系”、あざとい系、意識高い系、愛され系、おもしろ系、「意識低い系」、映え系、色素薄い系、オシャレ系、“ガッツリ系”、さっぱり系、 <u>フロアにダイブしちゃう系</u> 、ムキカワ系、あざと系、“色気垂れ流し系”、ゆるゆる系、懐かし系、「つくる会」系、 <u>砂糖より甘い系</u> 、はかない系、ゆる系、ムキムキ系、ほっとけない系、こってり系
2025	かわいい系、ガッツリ系、おちゃめ系、返事遅い系、巻き込まれ系、楽しむ系、オラオラ系、ジメジメ系、キラキラ系、「アッサリ系」、「あざとい系」、ほんわか系

各年で共通しているのは、前接にオノマトペを置く用例が多く見られたことである。特に、「ABAB」型と「AっBり」型のオノマトペは表4の全ての年で確認できた。また、少数ではあるが、「ふわモコ系」や「ゆるふわ系」のように、オノマトペを複合語的に組み合わせたものがあった⁽⁵⁾。オノマトペの次に多く見られたのは形容動詞と形容詞であり、動詞、句に相当するものはそれほど多くない結果となった。形容動詞の場合は「キレイ」や「オシャレ」が、形容詞の場合は「カワイイ」が用例に現れる頻度がやや高かった。また、「不思議系」「懐かし系」「切な系」「あざと系」「炒め系」「こじらせ系」「愛され系」「巻き込まれ系」のように、用言や助動詞の語幹を前接に置くことが可能である。そのほか、「ヘルシーまろやか系」や「色素薄い系」のような形容動詞+形容動詞、名詞+形容詞で構成される複合語的なものも前接要素に見られた⁽⁶⁾。

表4において下線を引いた用例は、句に相当する前接要素である。構造としては「AなB系」「AのB系」「AよりB系」といったものをはじめ、「AはB系」「AがB系」などがあり、多様な様相を見せている。鍵括弧やダブルコーテーションを用いて前接要素の範囲を定めている用例が見られるものの、句を構成する語の組み合わせに大きな制限はないとみられる。

4-4. 前接に使用されるオノマトペ

表4で多く見られたオノマトペについて、2000年から2005年、2020年から2025年のそれぞれ5年間ずつに絞って用例を調査した。結果は以下の表5、表6のとおりである。なお、同一年において同一の用例が平仮名とカタカナで収集できたものは平仮名に統一している。一部用例は前接に句相当や複合語的なものもあるが、漢語接尾辞「系」の直前がオノマトペであるため用例として収集した。

表5 2000年から2005年までの前接に使用されたオノマトペ（順不同）

年	用 例	件数
2000	「ふわモコ」系、ぱふぱふ系、だらだら系、“ハラハラ系”、スッキリ系、さっぱり系、ほんわか系、のほほん系	8
2001	しっとり系、こったり系、ゆるゆる系、ワイガヤ系、さっぱり系、キラキラ系、サバサバ系、あっさり系、ラブラブ系、背脂チャッチャ系、“ほっこり”系、ほのぼの系、ふんわり系	13
2002	おどおど系、「ポッチャリ系」、プルプル系、おっとり系、しっとり系、とろ〜り系	6
2003	むちむち系、かっちり系、シャカシャカハリハリ系、ひらひら系、サバサバ系、ドロドロ系、さっぱり系、ホンワカ系、ポチャ系、しっとり系、ネバネバ系、じゅくり系、関西あっさり系、“とろとろ系”、しっとりぶるぶる系、ガッツリ系	16
2004	サバサバ系、しっとり系、うっとり系、こったり系、あっさり系、チャッチャ系、キラキラ系、ドロドロ系、はんなり系、ゆったり系、ふんわり系、ポッチャリ系、かっちり系、「気はさっぱり」系、ほんわか系、スッキリ系	16
2005	ドロドロ系、なでなで系、キチンと系、しっぽり系、わいわい系、しっとり系、オラオラ系、のほほん系、グチャグチャ系、ほんわか系、さっぱり系、こったり系、はんなり系、キメキメ系、ネバネバ系、サラサラ系	16

表 6 2020 年から 2025 年までの前接に使用されたオノマトペ（順不同）

年	用 例	件数
2020	ネバネバ系、“ガッツリ系”、さっぱり系、ゆるゆる系、ムキムキ系、こってり系	6
2021	むっちり系、ピリピリ系、イケイケ系、ふるふる系、 <u>びえん系</u> 、ぽっちゃり系、あっさり系	7
2022	オラオラ系、ガッツリ系、さっぱり系、ギラギラ系、 <u>びえん系</u> 、“ねっとり系”、ねばねば系、シャリシャリ系、マシマン系、中にぎっしり系	10
2023	がつつり系、“ほっこり系”、オラオラ系、むっちり系、塩ダレスッカリ系、チャチャ系、キラキラ系、ゆるふわ系	7
2024	濃厚ガッツリ系、ぼわぼわ系、マシマシ系、ねっとり系、ドロドロ系、ふわふわ系、 <u>ちゆるん系</u> 、さっぱり系、 <u>キュルン系</u>	9
2025	ガッツリ系、オラオラ系、ジメジメ系、キラキラ系、「アッサリ系」、ほんわか系	6

表 4 と同じく表 5、表 6 とともに各年において、「ABAB」型と「A っ B り」型のオノマトペが確認できた。2002 年の「とろ～り系」や 2003 年の「ポチャ系」のようなオノマトペは「ABAB」型と「A っ B り」型のオノマトペに比べて極めて少ない。2000 年から 2005 年と 2020 年から 2025 年で異なる点は、下線を引いた「びえん系」や「ちゆるん系」「キュルン系」といった「AB ん」型が前接に使用される例が収集できたことである。

表 5 と表 6 から、2000 年から 2025 年において、漢語接尾辞「系」の前接に使用されるオノマトペは「ABAB」型と「A っ B り」型が多数であり、「AB」型や「AB ん」型などは少数である。「ABAB」型と「A っ B り」型の割合は年によって異なるものの、2000 年から 2005 年と 2020 年から 2025 年までのそれぞれ 5 年間で見てみると、およそ同じくらいの割合であることが窺える。

4-5. 複数の用法が確認できた用例

ここまでは前接要素の種類について述べてきたが、本項では複数の用法が確認できた用例について取り上げる。

(9) もう1つの日本の危機 **草食系**男子を生んだ時代を精神分析する な
ぜかくも欲望の欠如した男が大量に生まれるのか ※2度にわたる日
米戦争の敗北、続く卑屈な米国への依存、他 『正論』2010年4月

(10) 自然派ワインは体にいいだけじゃない。**草食系**の方々、どうぞご用心
※菜の花のペンネ、うどと春野菜のサラダ、たけのこの生ハム巻きフ
リット 『FRaU』2010年4月

(9) は人の性格を表す用法であり、恋愛に消極的あるいは受動的な人を
指す意味で使用される。また恋愛に限らず、草食動物の一般的なイメージ
を人の性格に反映しているものでもある。「草食系」のあとには「男子」や
「女子」といった人を表す語を用いて、より人の性格を表す場合もある。一
方、(10) は野菜のメニューが列挙してあることから、野菜を好む人を指し
ている用法とみられる。次に「草食系」と対になる「肉食系」の用例を以
下に示す。

(11) キャラまるわかり心理テスト **肉食系**? or 草食系? チェック **肉食
系**女子急増といわれるなか、ホントのあなたはどっちタイプ?
『女性セブン』2009年6月

(12) 好きな物を食べて自然にやせていく! 伊達式ハッピー・ダイエット相
談室 12回リバウンドしたくないなら肉や魚をしっかり食べる“**肉
食系**”にシフトしましょう! 『日経ヘルス』2010年6月

(13) 旨い! 肉の大事典 秘史開封 食肉の文化史 ニッポン**肉食系**「賢
人」伝 ※卑弥呼、小野小町、高山右近、徳川家康、徳川慶喜、近藤
勇、東郷平八郎ら肉食を愛好した賢人たち 『一個人』2019年9月

(11) は (9) と同じく人の性格を表す用法である。恋愛に積極的な人を
指す意味で使用されるが、積極的あるいは行動力が高い性格を指している
こともある。一方の (12) は人の性格ではなく、肉を食べることを指して
いる。ほかに (13) のように肉を好む人を指している用法もある。

「草食系」「肉食系」ともに最初は人の性格あるいは性質を比喩的に表す

用法であるところから、「野菜を好む人」や「肉を食べること」「肉を好む人」といったように用法が複数に広がっている。

続いて、以下に系統を表している用法と見た目を表している同一の前接要素の用例を取り上げる。

- (14) 異形の百年企業 Q&A 財閥系老舗はなぜ強い？ 財閥解体が長寿に寄与。ゆるやかな結束は健在 明治以降の近代化を支えた旧財閥系企業は今も隆盛を誇る。その長寿の秘密を探っていこう

『週刊東洋経済』2010年11月

- (15) 「はじめまして」にも、「2度目まして」にも効果的 春、新調するなら財閥系なブランドバッグ ※韓国ドラマに出てくるフェンディ、ドルチェ&ガッバーナ、ヴァレクストラ、デルヴォー、カルティエ、ブルガリのバッグ

『STORY』2025年3月

(14) は財閥系企業の系統を指しており、(15) は企業のことではなく、財閥令嬢の華々しいファッションを指す⁽⁷⁾。要は見た目を表しているのである。(15) の用例は『STORY』の当該号のみでしか確認できないため、『STORY』が「財閥系」に新たな用法を加えたと考えられる。

最後に、専門的な用語が他分野で使用されている例を取り上げる。

- (16) アンドロメダ銀河の正体 銀河系とともに進化する渦巻銀河のなぞ

『Newton』2000年12月

- (17) 君は銀河系リアルを見たか？ ※9月13日バリャドリッド戦などのスベクタクルゴール、選手語録、ベッカム

『サッカーマガジン』2003年10月

- (18) ジュノン・スーパーボーイ・コンテスト 36代グランプリ 石山順征 2024年、“銀河系男子”が日本席巻の予感 「カッコよくて、かわいくて、セクシー」 “オールマイティー”という言葉は、彼のためにある。

『JUNON』2024年3月

(16) が本来の用法である天文関係の専門用語である。2000年の初めからは(17)のサッカーチームであるレアルマドリードの記事で多く使用されるようになる。同時期にはレアルマドリードを「銀河系軍団」と記しているスポーツ雑誌の用例が確認された。(17)の場合はレアルマドリードという集団を表す用法として「銀河系」が使用されている。その後はラグビーや野球、芸能関係に関する雑誌記事においても、集団の意味合いで「銀河系(軍団)」が使用されていた。一方、2024年の用例である(18)では個人に対して「銀河系男子」が使用されている。

本来の意味での「銀河系」は星やガスなどが集まった集合体であり、そこから集団を指す用法へ拡大したものと考えられる。さらに(18)のように集団ではなく、「複数の属性を持ち合わせている人」という用法が加わったものと推測される。

(11)から(18)では、同一の前接要素による用法的な拡大を示した。しかしながら、漢語接尾辞「系」において、同一の前接要素が複数の用法を持つ用例はごく少数である。

5. おわりに

本稿では、「Web OYA-bunko」を用いて、2000年から2025年までの、漢語接尾辞「系」の前接要素の様相について、検索結果の件数による使用の推移、異なり語数、用例の面からそれぞれ述べた。使用の推移からいえることは、2005年の2271件をピークに件数が減少し、2018年以降は1000件前後で推移していることである。また、「Web OYA-bunko」における漢語接尾辞「系」の量的なピークは、2003年から2010年までの7年である。異なり語数については検索結果の件数と同様、2005年をピークに以降は減少している。暫定的な結果である2025年を除くと、2000年から2020年までの5年ごとの検索結果の件数に占める異なり語の出現率は、各年とも概ね40%から±5%程度の範囲であった。したがって、漢語接尾辞「系」の使用は減少傾向にあるものの、検索結果の件数に占める異なり語の出現率は一定を保っている。実際に調査した用例では、2000年以降も前接要素に名詞以外の品詞や句相当などが使用されており、特定の品詞や句に相当するものなどが使用されなくなる事象は確認されなかった。

4.3で取り上げた様々な用例から、2000年以降における漢語接尾辞「系」

の前接要素は、「一つのつながりやまとまり」「ある特色をばかしてさすことば」「そのような系統の見た目」のいずれかを指すのであれば、使用できるものに大きな制限がほばないと考えられる。また 44 では、前接要素としてのオノマトペを取り上げ、「ABAB」型と「A っ B り」型が多数かつ、同程度の割合で使用されていることを述べた。

最後に、複数の用法が確認できた同一の前接要素について触れた。「草食系」「肉食系」については、人の性格や性質を表す用法と、漢字の意味をそのまま利用した用法がある。「財閥系」は系統を表す用法と見た目を表す用法が確認された。「銀河系」については、本来の用法である専門用語、そして 2000 年初めの集団を表す用法、2020 年以降の複数の属性を持っている個人を表す用法の 3 つが通時的に明らかになった。

今後は、今回扱わなかった「」や〈〉の括弧類、ダブルコーテーションと漢語接尾辞の関係について、「系」以外のものも含めて研究してみたい。

付記

本稿は、あくまで「Web OYA-bunko」に採録されている雑誌の様相であり、SNS やブログ、実際の話し言葉とは実態がやや異なる。用例の参考資料として、前接要素が日常生活において用いられる一般的な名詞や、名詞以外の品詞、句に相当するものに絞って、2020 年と 2025 年の用例を末尾に載せた。

注

- (1) 飛田良文ほか編 (2007)『日本語学研究事典』明治書院、p.165 から引用。執筆者は斎藤倫明。
- (2) 「Web OYA-bunko」は明治時代からの雑誌記事索引 740 万件以上を収録している。採録期間は明治時代から現在までである。収録雑誌数は約 2000 誌、現在刊行中の雑誌は約 200 誌を採録している。(2024 年 12 月時点)
- (3) フリーワード検索の検索結果は、[記事種類] [タイトル] [発言者] [雑誌名] [発行日] [ページ] [備考] で構成されている。
- (4) 年によっては収集した用例の出典元の 3 割から 4 割が週刊誌であった。
- (5) 「ふわモコ」は「ふわふわ」と「モコモコ」、「ゆるふわ」は「ゆるゆる」と「ふわふわ」の組み合わせである。
- (6) 本稿では、「色素薄い系」や「意識高い系」といった前項と後項が主語と述語

の関係になっている名詞＋形容詞の用例も複合語的なものとして扱う。

- (7) STORY オフィシャルサイト「【ランキング TOP4】春のイメチェン、コーデの味変に！読者が欲しいアイテムは？」2025/03/31 更新

<https://storyweb.jp/fashion/539350/>（最終閲覧日：2025/09/29）

参考文献

- 中島晶子（2010）「新造語における「度」「系」「力」の用法」（大島弘子、中島晶子、ブラン・ラウル編『漢語の言語学』くろしお出版、pp.159-176）
- 山下喜代（2013）「接辞性字音形態素の造語機能」（野村雅昭編『現代日本漢語の探究』東京堂出版、pp.83-108）
- 山下喜代（2015）「漢語接尾辞「系・派」について—人物を表す派生語の分析を中心に—」（『青山語文』45、pp.112-125）
- 大志民彩加（2020）「「X 系」の多義性と意味拡張の方向性について」（『表現研究』112、pp.1-10）
- 連菁（2022）「句を包摂する接辞性字音形態素「系」について」（『東アジア日本学研究』7、pp.81-88）
- 黒田聡実（2025）「雑誌における漢語接尾辞「系」の前接要素の量的増加と質的拡大 —戦後から2000年まで—」（『國文學論叢』70、pp.177-163（pp.16-31））

使用文献・使用データベース

- 金田一春彦、金田一秀穂編（2017）『学研現代新国語辞典改訂第六版』（学研プラス）
- 新村出編（2018）『広辞苑第七版』（岩波書店）
- 西尾実ほか編（2019）『岩波国語辞典第8版』（岩波書店）
- 山田忠雄ほか編（2020）『新明解国語辞典第八版』（三省堂）
- 北原保雄編（2021）『明鏡国語辞典第三版』（大修館書店）
- 金田一京助ほか編（2022）『新選国語辞典第十版』（小学館）
- 見坊豪紀ほか編（2022）『三省堂国語辞典第八版』（三省堂）
- JapanKnowledge Lib <https://japanknowledge.com/library/>
- 松村明監修（2012）『デジタル大辞泉』（小学館、底本名『大辞泉第二版』）

最終閲覧日：2025年9月27日

「Web OYA-bunko 大宅壮一文庫雑誌記事索引検索」

<https://www.oya-bunko.com/menu>

最終閲覧日：2025 年 8 月 6 日

(本学特別専攻生)

《キーワード》

漢語接尾辞、○○系、異なり語数、「Web OYA-bunko 大宅壮一文庫雑誌記事索引
検索」

付表 2020 年と 2025 年の漢語接尾辞「系」の前接要素（一部抜粋）

年	用 例
2020	スポーツ系、癒し系、イエロー系、外資系、清楚系、生態系、美容系、保守系、チーズ工房系、進化系、反社系、銀河系、ビジュアル系、渋谷系、アパレル系、キャリア系、ネット系、エンタメ系、節約系、草食系、ネバネバ系、“いやしい系”、攻め攻め系、あざとい系、二郎系、スピリチュアル系、物販系、スポーティー系、2.5 次元系、組織系、個人系、ハイストリート系、脱力系、ソーシャル系、ハイブリッド系、肉食系、本格スパイス系、創造系、スイーツ系、出会い系、略奪系、野良系、体育会系、反体育会系、中華系、アスレチック系、“ピュア系”、“旨味系”、コート系、トレイルラン系、真面目系、スパルタ系、主婦系、キリスト教系、意識高い系、妄想系、ストロング系、ギャル系、財閥系、ホテル系、愛され系、グイグイ系、セカイ系、モテ系、ハード系、鉄道系、イラスト系、ミニシアター系、“RIZAP 系”、電子音楽系、機能系、お姉さん系、おもしろ系、雰囲気重視系、地域活性系、ロリ系、格闘系、シティ系、出版系、セクシー系、カントリー系、IT 系、ペイ系、交通系、「意識低い系」、ブルー系、映え系、王子系、人柄系、「お笑い系」、ミュール系、カップ系、スキんケア系、キャッシュレス系、なごみ系、車両系、単館系、有酸素運動系、ステーキ系、音楽系、トーンアップ系、美肌補整系、飲む系、色素薄い系、運動系、猫系、新生態系、オシャレ系、EC 系、清流系、蜂蜜系、王道系、ホトケ系、ビール系、デジタル系、過激系、ご当地系、淡麗系、神戸系、自虐系、遊び系、きれいめモード系、ストリート系、青春系、情報系、主食系、おかず系、デザート系、お菓子系、清純系、最新系、おバカ系、“ガッツリ系”、さっぱり系、フロアにダイブしちゃう系、アウトドア系、コワモテ系、オタク系、迷惑系、柑橘系、ブラウン系、アーティスト系、牧場系、減塩系、おつまみ系、ドイツ系、“ほっち系”、グローバル系、銀行系、ムキカワ系、オカルト系、あざと系、「やりすぎ系」、「健康系」、原石系、燃烧系、暖色系、アニメ・ゲーム系、アイドル系、懐かし系、通信系、エンタメ系、ガテン系、“色気垂れ流し系”、ダイエット系、軽食系、ゆるゆる系、文化系、赤系、コミュ系、絶叫系、パチンコ系、超体育会系、ラテン系、キャンプ系、モデル系、お嬢さん系、バリピ系、体当たり系、天然系、砂糖より甘い系、はかない系、超進化系、投資系、経済系、アメフト系、バラエティ系、夜系、水系、ゆる系、妹系、演歌系、相席系、ポップス系、全力系、ムキムキ系、愛され系、ベンゾ系、技術系、事務系、ネット予約系、ほっとけない系、美術系、ファッション系、グリーン系、大手銀行系、こってり系、お役立ち系、元気系、愛妻系

2025	保守系、迷惑系、猫系、古着系、外資系、財閥系、白系、シアター系、主食系、創造系、元外資系、かわいい系、睡眠系、フローラル系、ガッツリ系、肉食系、ワイルド系、交通系、やみつきちーズ系、超肉食系、リユース系、テック系、配信系、ハードボイルド系、地元系、進化系、清楚系、脱力系、食いつくし系、クラフト系、二郎系、家系（いえけい）、王道系、カジュアル系、音声系、パワー系、勉強系、キャッシュレス系、制作系、生態系、シプレ系、おちゃめ系、分析系、お台場系、“地雷系”、キャリア系、返事遅い系、ヒートテック系、銀河系、沼系、科学系、太陽系、都市伝説系、燃焼系、くすみ系、情報系、日常系、出会い系、過激系、コンビニ系、朝ドラ系、癒し系、「あざやかブルー系」、清純系、オタク系、魔性系、巻き込まれ系、中華系、旅系、パープル系、楽しむ系、健康系、オラオラ系、おかず系、スイーツ系、レトロ系、企業コラボ再現系、贅沢系、しっとりソフト系、創作系、セクシー系、「ニューウェーブ系」、IT系、キャラクター系、ダジャレ系、エンジニア系、青年誌系、ジメジメ系、お菓子系、切り抜き系、〇〇系、高級肉系、ピンク系、投資系、料理系、“鶏系”、無視系、お江戸人情系、軽量カーボン系、個人系、サブカル系、お姉さま系、罵倒系、キラキラ系、訪問系、「アッサリ系」、除湿・乾燥系、スパイン系、リリース系、ローリング系、ダイナミック系、モデル系、音楽系、体育会系、旅行系、“あざとい系”、楽器系、ビジュアル系、ほんわか系、根暗系、「スピ系」、ロリ系、お祭り系、妹系、渋谷系、地味系、寒色系、バイオ系、屋外系、便乗系
------	--

*鍵括弧、ダブルコーテーションは引用ママ。各年で表記の統一をしていないため揺れがある。